

## 19. 被服技能を測定する一方法（糸結びテスト）

### について（第4報）

奈良女子大文学部附属高校 ○太田 昌子  
藤沢キミエ  
千葉県立安房第二高校 井上 絢子

1. 被服技能に関係の深い指先の器用さを測定する目的で考察した糸結びテストの成績と、運針その他実際の被服技術成績との関連性を調べることにした。この中、前報においては運針および平素の被服実習成績との関連性について報告したが、今回はまつりぐけおよび編物（くさりあみ・表あみ）との関連性、および技術検定（被服四級）成績との関連性について報告する。

2. 前報におけると同様、中・高校生について行なった上記各テスト成績と、糸結びテスト成績との相関を求めた。技術検定成績との相関は、総合成績および仕事の内容別成績について調べてみた。

3. (1)結び目数とまつりぐけおよび編物（くさりあみ・表あみ）速度との間には、いくらかの相関関係が認められるが、その相関度はいずれも運針の場合より低い。(2)学年が進むにつれて相関度の低くなる傾向は、運針の場合と同様に認められた。(3)被服技術検定成績との関連性は、総合成績でも多少認められたが、仕事の内容によって異なり、明らかに関連性の認められるものと、余り認められないものとがあって、被服技術内容の複雑性を或る程度察知することができた。